

## 【エクアドル経済:2016年6月】

### 1 輸出・投資振興庁 (PROECUADOR) 主催第5回ビジネス・マッチ・メイキング

(1) 6月1日～2日、グアヤキルにおいて、「Macrorrueda de Negocios ECUADOR2016」が開催された。本イベントは、PROECUADOR が当国の伝統的・非伝統的製品の輸出促進のために2012年から毎年開催している当国最大規模の大商談会（本年度で5回目）。

(2) 今回のイベントには国内輸出事業者約600社（うち、約40社が地震の被害を受けたマナビ県、エスメラルダス県の事業者）と世界の様々な分野における輸入事業者165社（うち日本企業5社）が出席。分野としては、加工食品、農産加工業、漁業・水産業、林業、生花、バナナ、非伝統的果物、薬品、宝石業、手工業、プラスチック、ゴム、コーヒー、カカオ、観光、金属機械、自動車、繊維業、製造業、薬品、サービス業（ソフトウェア、ロジスティクス、専門サービス）等。

(3) 今回のイベント中、4,100件以上の商談が行われ（1件30分）、本年中に同イベントをきっかけとした2億4千万ドルの取引が行われることが見込まれる。

(4) 以下の国々（計27カ国）の関係者が同イベントに招待された。

ドイツ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、韓国、キューバ、ア首連、スペイン、米国、フランス、グアテマラ、オランダ、インド、イタリア、日本、メキシコ、ペルー、英国、ロシア、スウェーデン、トルコ、ベネズエラ、ドミ共

(5) 1日に開催された開会式には、カシネリ貿易大臣、フラド PROECUADOR 長官、ボイド IDBエクアドル所長、マリア・ソレダ・バレラ 国家金融公庫 (CFN) 総裁等が出席した。

### 2 ポソルハ港建設計画（建設・運営に係るコンセッション契約締結）

(1) 6月6日、ポソルハ港建設・運営に係るコンセッション契約が、大統領府において締結された。コリア大統領は、同港の運営が開始された暁には、35億ドルの収入が見込まれると述べた。同契約署名は、運輸・公共事業省 (MTOP) 代表と DP 社の各代表の間で行われ、同社のコンソーシアムである Novis が3年間かけて建設を行う。

(2) DP 社は、港湾設計、埠頭建設、水路浚渫等を受注し、コンセッション期間は50年である。コリア大統領は、「同契約は、官民連携法の枠内で締結された初めての契約であり、過去最高となる12億ドルの投資となる。また、関連税収及びコンセッション支払いにより、35億2,000万ドルの収入が見込まれる。」と述べた。

(3) コリア大統領は、演説の中で、これまで新たな港湾建設計画が進められてこなかったことに対し、グアヤキル市長を批判した。また、同港湾建設及び運営にそれぞれ2,000と800の直接雇用、1,500の間接雇用が創出されるであろうと述べた。

(4) 港湾建設が終了後、コリア大統領は、所得税の減額や海外送金税の免除を含む税制面での優遇措置として、同地域を経済発展特区 (ZEDE: Zona Especial de Desarrollo Economico) に指定する予定である。なお、現在までに、ヤチャイ及びパシフィコ製油所が ZEDE に指定

されている。また、同地域には、造船所が設置される予定である。

(5) DP 社代表は、同港湾建設によってエクアドルが受ける恩恵は非常に大きく、世界各地との通商コネクションが広がることで、更なる投資を呼びこむことになり、国家予算の石油部門への依存度を下げることにも貢献するであろうと述べた。

### 3 税収の大幅減少

(1) 6月14日付当地紙エル・コメルシオは、1月から5月期における税収が昨年度同期比で大幅に減少した旨報道。国税局（SRI）によれば、2016年1月から5月までの税収は54億4,370万ドルであり、昨年度同期比で16%減少した。同局によれば、2015年8月から税収は減少傾向であるとのこと。なお、主要な税金である、所得税、付加価値税、海外送金税は、それぞれ16から23%減少した。

(2) プラド国税専門家によれば、輸入の落ち込みは海外送金税の減少に直結し、結果的に税収減少の原因となっていると述べた。

### 4 フルータ・デル・ノルテ鉱山開発開始申請

(1) 6月16日、コルドバ鉱業大臣は、Lundin Gold社社長より、フルータ・デル・ノルテ鉱山の探査フェーズから開発フェーズへの移行許可申請を受ける。同鉱山の開発は、エクアドル政府が推進する「生産マトリクスの転換」及び外国投資の誘致に合致する初めての大規模鉱山開発事業となる。

(2) 2014年12月、Lundin Gold社は、Kinross社が請け負っていたフルータ・デル・ノルテ鉱山の開発権を取得した。2015年6月、同社はエクアドル政府との間で、2018年初旬の生産開始を目標に開発契約交渉を開始し、2016年1月14日、双方は、同契約の条件等について合意に達した。同契約に基づき、Lundin Gold社は、エクアドル政府に対し、ロイヤルティとして6,500万ドルを支払うことになっており、最初の支払いとして、契約書署名時に2,500万ドルが支払われる。

(3) 6月6日、同社は、本件プロジェクトF/S結果を（政府に）通報した。同F/Sによれば、フルータ・デル・ノルテは、世界でも最大級の未開発鉱山であり、482万オンスの金と634万オンスの銀の埋蔵量が予測されている。

(4) Lundin Gold社によれば、本プロジェクトにおいて、9億6,100万ドルの投資が見込まれているとのこと。なお、2017年7月に生産が開始され、投資額は5年以内にペイできると見込まれている。

(5) 現時点において、フルータ・デル・ノルテの生産年数は13年と予想されており、同期間中に、税金やロイヤルティ等による9億2,800万ドルの国家収益が見込まれる。

### 5 対中国原油貿易現状

(1) 6月21日付当地紙エル・コメルシオは、エクアドルの対中国原油貿易及び同国との融資契約の現状について報じているところ、概要以下のとおり。現在までに、エクアドル石

油公社とペトロチャイナの間で締結された原油売買にかかる直接契約は以下のとおりであり、2024年までの輸出がコミットされている。

ア 2009年7月～2011年7月（契約満了）：6,900万バレル／10億ドル

イ 2010年8月～2014年8月（契約満了）：5,180万バレル／10億ドル

ウ 2011年6月～2016年6月：1億1,880万バレル／20億ドル

エ 2011年～2019年：原油量不明

オ 2012年～2020年：原油量不明

カ 2013年～2017年：原油量不明

キ 2016年1月～2021年1月：原油売買契約：7,630万バレル

融資契約：9億2,000万ドル

ク 2016年4月～2024年4月：原油売買契約：1億8,100万バレル

融資契約：20億ドル

※ア～ウについては、原油前売り契約。

（2）本年に入ってから締結された2件の原油売買契約（上記1（7）及び（8））により、合計2億5,730万バレルの輸出契約が締結されているが、中央銀行の統計によれば、同輸出量は、2015年におけるエクアドルの原油輸出量全体の1.5倍に相当する。なお、エスメラルダス製油所の石油精製量は、同製油所稼働率100%の場合、11万バレル／日であり、上記輸出量は、6年分に相当する。

（了）